

人と組織の課題 見える化・改善支援プログラム

事業成長を支える、働きやすく、前に進む組織へ

組織の
“もったいない”
見える化

ジオプラスは、離職・リーダー負荷・部門間のズレなど、
見えにくい組織課題を整理し、実行できる小さな改善から、
働きやすく成長できる職場を支援します。

小さな改善で
一歩前進

このような“組織のサイン”はありませんか？

1

人材定着 に不安

若手・中堅が育つ前に
離れてしまう

2

管理職に 負荷集中

リーダーが調整役に追われ
本来業務に集中しにくい

3

現場の声が 届きにくい

困りごとや改善提案が
経営判断につながりにくい

4

部署間の 連携ロス

確認戻り・手戻り・判断待ちが
日常的に起きている

本プログラムの 考え方

人の問題として片づけず、情報共有・判断基準・役割分担・業務負荷・育成など、
組織として整えるべきポイントを経営・管理側と現場の対話で整理します。
そのうえで、通常業務の中で始められる小さな改善策まで具体化します。

進め方 | 見える化から実行まで

1

事前確認

課題感を
簡単に把握

2

対話会 1回目

立場ごとの
見え方を整理

3

簡易診断レポート

重要課題と
改善テーマを可視化

4

対話会 2回目

優先順位と
小改善を決定

5

実行確認

1ヶ月後に
効果と負担を確認

支援内容

- 現状ヒアリング・事前ミニ確認
- 90分×2回の対話型セッション
- 組織課題の整理レポート作成
- 小改善案・実行計画の作成支援

対話から見えてくる課題の例

情報共有や意思決定のズレ、部門間連携、
管理職・リーダーへの負荷集中、現場の声が
改善につながりにくい状態、育成・定着に関わる
不安などを、実施企業の状況に応じて整理します。

あらかじめ決まった診断項目ではなく、実際の対話内容から優先度を整理します。

期待できる成果

01

優先すべき組織課題が 明確に

感覚的な問題認識から脱し、
限られた時間と人をどこに
使うべきか判断しやすくなります。

02

管理側と現場のズレを 整理

現場任せ・管理職任せにせず、
経営課題として改善の方向性を
共有しやすくなります。

03

小改善の実行計画まで 具体化

担当者・期限・確認方法を決めるため、
施策が“やりっぱなし”になりにくくなります。